

平成２８年度石綿ばく露者の
健康管理に係る試行調査（北九州市）
報告書

平成２９年３月
北九州市

一 目 次

1	調査目的	1
2	調査実施場所	1
3	調査実施期間	1
4	調査実施方法	1
(1)	調査対象者	1
(2)	内容	1～2
ア	広 報（募集）	
イ	申込受付及び面談	
ウ	検査	
エ	医学的所見の確認	
オ	保健指導等	
5	調査結果	3
(1)	調査対象者の受診状況	3
(2)	石綿ばく露歴の聴取及び保健指導を受けた者	3
(3)	胸部ＣＴ検査の受診状況及び所見結果	4
6	平成 28 年度報告様式	
	表 1、2	5
	表 3、4	6
	表 5－1	7
	表 5－2	8
	表 6	9
	実施体制及び課題と取り組み事例	10～27

1 調査目的

これまでの石綿健康リスク調査により一定の知見が得られたことから、環境省においては、平成27年度以降は、石綿検診（仮称）の実施を見据えたモデル事業である「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査（以下「試行調査」という。）」を実施することを通じて、実施主体・既存検診（肺がん検診等）との連携方法・対象者・対象地域の考え方・検査頻度・事業に要する費用等の課題等について調査検討を行うこととなった。

北九州市においては、平成27年度に引き続き、環境省から試行調査を受託し、地域住民に対し広報等で調査対象者を募集し、「質問票による石綿ばく露の聴取」、「胸部X線検査（既存検診である一般肺がん検診を活用）」及び「胸部CT検査」により、調査参加者の石綿ばく露の評価、保健指導を実施した。

2 調査実施場所

北九州市総合保健福祉センター等
福岡県北九州市小倉北区馬借一丁目7-1

3 調査実施期間

平成28年4月1日から平成29年3月31日

4 調査実施方法

（1）調査対象者

調査対象者は、次のア、イのうち、試行調査の内容を理解し協力を同意する者とした。

ただし、労働安全衛生法の石綿健康管理手帳を取得している又は交付要件に該当している者、石綿障害予防規則により職場等で石綿に関する特殊健康診断を受けることができる者、石綿関連疾患が原因で医療機関を受診している者は、継続的に石綿関連疾患に係る健康管理が行われていることから、本調査の対象外とした。

調査対象者は、113名であった（石綿ばく露の聴取のみの者を含む）。

ア 平成16年以前に北九州市門司区に居住歴がある40歳以上の北九州市民

イ 過去に次の試行調査参加自治体の対象地域（対象期間）に居住歴がある40歳以上の北九州市民

- ① 神奈川県横浜市鶴見区（平成元年以前）
- ② 岐阜県羽島市（平成元年以前）
- ③ 大阪府（大阪市、堺市、岸和田市、貝塚市、八尾市、泉佐野市、河内長野市、和泉市、東大阪市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町及び岬町）に居住していた者（いずれも平成2年以前）
- ④ 兵庫県尼崎市（昭和30年から昭和50年）
- ⑤ 兵庫県（西宮市、芦屋市、加古川市）
- ⑥ 奈良県（平成元年以前）
- ⑦ 佐賀県鳥栖市（昭和33年から昭和61年）

（2）内 容

ア 広 報（募集）

過去の調査参加者（調査の協力を辞退した者等を除く）への参加案内状の送付に加え、市政日より、市ホームページ、市内医療機関でのポスター掲示、対象地区自治会の班回覧、石綿工場跡近隣地区住民への戸別チラシ配布、門司区内市民センター及び各区役所へのチラシ配布により広く周知し、新規の調査参加者の募集を行った。

イ 申込受付及び面談

申込受付は北九州市総合保健福祉センター管理課において、面談は門司区の門司生涯学習センターで行った。面談参加者に対しては、調査協力に対する同意を得たうえで、看護師が質問票を用いて、呼吸器疾患等の既往歴、本人・家族の職歴、喫煙の有無、石綿ばく露歴などを詳細に聞き取り、調査対象者として登録した上で、一般肺がん検診(集団検診)受診への案内を行った。また、胸部X線よりも胸部CT検査の方が放射線被爆の影響が高いことを丁寧に説明した上で、胸部CT検査の受診を案内した。

ウ 検 査

調査対象者は、一般肺がん検診(集団検診)に参加し、胸部X線検査を受診した。

また、新規の調査参加者及び過去の調査参加者で胸部CT検査を希望した者は、北九州市が発行した受診券を指定医療機関に提出し、予約日時に胸部CT検査を受診した。なお、検査は、「独立行政法人労働者健康安全機構九州労災病院門司メディカルセンター」、「独立行政法人労働者健康安全機構九州労災病院」、「一般財団法人西日本産業衛生会」、「産業医科大学病院」、「北九州市立門司病院」の5つの指定医療機関で行った。

エ 医学的所見の確認

胸部CT検査の受診者については、指定医療機関を通じて、次の画像所見①～⑨の有無の確認を行った。その際、一般肺がん検診で撮影した胸部X線画像データを取り寄せ、指定医療機関において胸部X線画像とともに胸部CT画像の読影を行った。

- ①胸水貯留
- ②胸膜プラーク（限局性の胸膜肥厚）
- ③びまん性胸膜肥厚
- ④胸膜腫瘍（中皮腫）疑い
- ⑤肺野の間質影
- ⑥円形無気肺
- ⑦肺野の腫瘤状陰影（肺がん等）
- ⑧リンパ節の腫大
- ⑨その他の所見（陳旧性結核病変など①～⑧以外の所見）

オ 保健指導等

（ア）調査対象者の健康管理に役立てるため、次のとおり保健指導を行った。

- ① 調査対象者に受診カード（健康手帳）を配布し、検診結果を記載して健康管理に役立てるよう指導した。
- ② 石綿関連疾患及び石綿関連所見の概要を掲載したリーフレットを配布し説明した。
- ③ 石綿健康管理手帳及び石綿救済制度のリーフレットを配布し、該当するようであれば、窓口で相談するよう案内した。
- ④ 喫煙者に対しては、肺がん発症のリスクが増大するため禁煙指導を行った。
- ⑤ 一般肺がん検診の際に健康増進法に基づく市の特定健診も受診できる場合があるため当該健診の受診も勧奨した。
- ⑥ 今後も定期的に受診し健康管理に努めるよう指導した。

（イ）特に有所見者については、次のとおり保健指導を行った。

- ① 所見を有しているが、精密検査の必要がないとされた者に対して、認められた所見について説明し、直ちに医療機関の受診は必要ないが、経過観察を行うことが望ましい旨を指導した。なお、精密検査又は医療の必要があると判断された者の該当はなかった。

5 調査結果

(1) 調査対象者の受診状況

ア 調査対象者 113 人と面談し、全員に石綿ばく露の聴取及び保健指導を実施した。また、調査対象者 113 人のうち、108 人が一般肺がん検診を受診した。

一般肺がん検診受診者のうち、56 人が胸部 CT 検査を受診した。

なお、調査対象者 113 人のうち、今年度、新たに受診カード（市の健康手帳）を配布した者は 49 人で、残りの 64 人は前年度に配布済であった。 [表 1 参照]

イ 前年度試行調査（平成 27 年度試行調査）において、受診カード（市の健康手帳）を配布した者は 108 人であった。

このうち 64 人が今年度の調査対象者となり、受診状況は次のとおりであった。

- | | |
|--|------|
| ① 一般肺がん検診のみ受診した者 | 41 人 |
| ② 一般肺がん検診及び胸部 CT 検査をどちらとも受診した者 | 21 人 |
| ③ 一般肺がん検診及び胸部 CT 検査をどちらとも受診しなかった者 | 2 人 |
| （※面談を通じ石綿ばく露の聴取及び保健指導は実施している） [表 2 参照] | |

ウ 今年度、試行調査に参加しなかった者 44 人のうち 19 人が住民検診、病院等で受診していた。 [表 2 参照]

また、受診の有無が確認できなかった者については、前年度調査で異常なしの結果であった者が大半であった。参加しない理由として、「前回の検診で異常なし」「自覚症状（異常）がない」と参加意向アンケートで回答している者もいた。

[その他 アンケート結果参照]

(2) 石綿ばく露歴の聴取及び保健指導を受けた者

ア 石綿ばく露歴の聴取及び保健指導を実施した者 113 人の内訳は、46 歳から 88 歳までの男性 58 人、女性 55 人であった。

年齢別に見ると 60 歳代 42 人 (37.2%)、70 歳代 42 人 (37.2%) と多く、次いで 80 歳代 13 人 (11.5%)、50 歳代 12 人 (10.6%)、40 歳代 4 人 (3.5%) であった。

[表 3 参照]

イ 石綿ばく露歴の聴取及び保健指導を実施した者 113 人のばく露歴別状況は次のとおりであった。 [表 4 参照]

- | | | |
|---|------|---------|
| ① ア「主に直接石綿を取り扱っていた職歴がある者」 | 37 人 | (32.7%) |
| ② イ「直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者」 | 10 人 | (8.9%) |
| ③ ウ「家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者」 | 18 人 | (15.9%) |
| ④ エ「職域以外で石綿取り扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者」 | 13 人 | (11.5%) |
| ⑤ オ「上記ア～エ以外のばく露の可能性が特定できない者」 | 35 人 | (31.0%) |

(3) 胸部CT検査の受診状況及び所見結果

ア 胸部CT検査を受診した者56人の内訳は男性31人と女性25人であった。

年齢別に見ると、60歳代が22人(39.3%)と多く、次いで70歳代19人(33.9%)、80歳代8人(14.3%)、50歳代5人(8.9%)、40歳代2人(3.6%)であった。

[表5-1参照]

イ 胸部CT検査を受診した者56人のうち、過去の調査で胸部CT検査の受診歴があった者は、31人であった(平成21年度1人、平成23年度3人、平成24年度3人、平成26年度7人、平成27年度17人)。

なお、31人のうち、過去の受診で環境省指定の石綿関連所見(疑いを含む)が認められていた者が13人いた。

[表7参照]

ウ 胸部CT検査受診者56人のうち、環境省指定の石綿関連所見(疑いを含む)が認められた者が18人であった。

石綿関連所見(疑いを含む)の状況としては、「胸膜プラーク」所見を有する者が17人(肺野の間質影所見も有する者2名を含む)、「肺野の間質影」所見を有する者が3人(胸膜プラーク所見も有する者2名を含む)であった。なお、石綿関連所見(疑いを含む)が認められた者18人の石綿ばく露歴分類状況は次のとおりであった。

[表5-2参照]

①	ア「主に直接石綿を取り扱っていた職歴がある者」	11人	(61.2%)
②	イ「直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者」	2人	(11.1%)
③	ウ「家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者」	1人	(5.5%)
④	エ「職域以外で石綿取り扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者」	1人	(5.5%)
⑤	オ「上記ア～エ以外のばく露の可能性が特定できない者」	3人	(16.7%)

エ 平成28年度試行調査において、石綿関連疾患と診断された者の該当はなかった。

[表6-1、表6-2参照]

(別添)

平成28年度石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査 報告様式

表1:平成28年度の項目別対象者数

調査対象者数 ^{※1}	113
石綿ばく露の聴取を受けた者(受診者)	113
胸部CT検査を受けた者	56
うち 肺がん検診等を受けた(胸部X線画像を読影した)者	56
うち 試行調査対象外の方法で胸部線画像を取得し、読影した者	
保健指導を受けた者	113
平成28年度に受診カードを配布した者	49

※1 同意書取得者数

表2:平成27年度を受診カード等[※]配布者についての平成28年度の状況

受診カード等(平成27年度配布者)	108
胸部CT検査と肺がん検診を受けた者	21
胸部CT検査のみを受けた者	0
肺がん検診のみを受けた(胸部CT検査を受けなかった)者	41
胸部CT検査及び肺がん検診を受けなかった者	2
その他の健診等で胸部CT検査と胸部X線検査を受けた者	8
その他の健診等で胸部X線検査のみを受けた者	11
受診の有無を確認できなかった者	25

※ 受診カード等:氏名、住所、問い合わせ先、肺がん検診受診勧奨文、肺がん検診実施機関へのお願い、肺がん検診受診歴が記載されているもの

表3:平成28年度 石綿ばく露の聴取を受けた者の年齢階層別人数 (単位:人)

	男	女	合計
40歳未満	0	0	0
40～49歳	3	1	4
50～59歳	6	6	12
60～69歳	19	23	42
70～79歳	23	19	42
80～89歳	7	6	13
90歳以上	0	0	0
合 計	58	55	113

表4:石綿ばく露の聴取を受けた者のばく露歴集計表

(単位:人)

ばく露歴 ばく露歴分類	ア.直接職歴あり	イ.間接職歴あり	ウ.家庭内ばく露あり	エ.立入・屋内環 境ばく露あり	オ.その他	小計	合計
ア	●					9	37
	●	●				2	
	●		●			1	
	●			●		1	
	●				●	10	
	●	●	●			0	
	●	●		●		0	
	●	●			●	0	
	●		●	●		2	
	●		●		●	4	
	●			●	●	4	
	●	●	●	●		0	
	●	●	●		●	0	
	●	●		●	●	0	
	●		●	●	●	4	
イ		●				0	10
		●	●			0	
		●		●		0	
		●			●	4	
		●	●	●		1	
		●	●		●	1	
		●		●	●	0	
		●	●	●	●	0	
ウ			●			7	18
			●	●		0	
			●		●	11	
			●	●	●	0	
エ				●		4	13
オ				●	●	9	
					●	35	35
合計※	37	12	31	25	82	113	113

※ 縦計については、重複計上により算定。

表5-1 年齢階層・性別胸部CT検査所見口

(単位:人)

		合計	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上
胸部CT 受診者	合計	56	0	2	5	22	19	8	0
	男性	31	0	2	1	9	14	5	0
	女性	25	0	0	4	13	5	3	0
石綿関 連所見 (疑いを含 む)実 人数	合計	18 (6) 32.1%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	1 (1) 20.0%	5 (2) 22.7%	6 (2) 31.6%	6 (1) 75.0%	0 (0) -
	男性	12 (3) 38.7%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	4 (1) 44.4%	4 (1) 28.6%	4 (1) 80.0%	0 (0) -
	女性	6 (3) 24.0%	0 (0) -	0 (0) -	1 (1) 25.0%	1 (1) 7.7%	2 (1) 40.0%	2 (0) 66.7%	0 (0) -
①胸水 貯留	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
②胸膜ブ ラーク(胸 膜肥厚 斑)	小計	17 (5) 30.4%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	1 (1) 20.0%	5 (2) 22.7%	5 (1) 26.3%	6 (1) 75.0%	0 (0) -
	男性	12 (3) 38.7%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	4 (1) 44.4%	4 (1) 28.6%	4 (1) 80.0%	0 (0) -
	女性	5 (2) 20.0%	0 (0) -	0 (0) -	1 (1) 25.0%	1 (1) 7.7%	1 (0) 20.0%	2 (0) 66.7%	0 (0) -
③びまん 性胸膜 肥厚	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
④胸膜 腫瘍(中 皮腫)疑 い	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
⑤肺野 の間質 影	小計	3 (2) 5.4%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (1) 4.5%	2 (1) 10.5%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	1 (0) 3.2%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 7.1%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	女性	2 (2) 8.0%	0 (0) -	0 (0) -	0 (0) 0.0%	1 (1) 7.7%	1 (1) 20.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
⑥円形 無気肺	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
⑦肺野 の腫瘍 状陰影 (肺がん 等)	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
⑧リンパ 節の腫 大	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
②胸膜ブ ラーク且 つ⑤肺 野の間 質影あり	小計	2 (1) 3.6%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (1) 4.5%	1 (0) 5.3%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	男性	1 (0) 3.2%	0 (0) -	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (0) 7.1%	0 (0) 0.0%	0 (0) -
	女性	1 (1) 4.0%	0 (0) -	0 (0) -	0 (0) 0.0%	1 (1) 7.7%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -

※ ()内は疑い(内数)口

※ ①～⑧で複数の所見が出た者は全て計上している。①～⑧の合計は実人数とは一致しない口

※ 右欄は各ばく露歴別の胸部CT受診者に対する有所見者の割合(疑いを含む)口

※ 小数点以下第2位を四捨五入

※ 胸膜ブラーク且つ肺野の間質影がある者について、2所見のうち、いずれかが「疑い」であれば、()の所見疑いに計上

表5-2 ばく露歴分類・性別胸部CT検査所見口

(単位:人)

		合計	ア.主に 直接職歴	イ.主に 間接職歴	ウ.主に 家庭内ばく露	エ.主に 立ち入り等	オ.その他
胸部CT 受診者	合計	56	19	8	4	4	21
	男性	31	15	5	1	4	6
	女性	25	4	3	3	0	15
石綿関 連所見 (疑いを含 む)実 人数	合計	18 (6) 32.1%	11 (2) 57.9%	2 (1) 25.0%	1 (1) 25.0%	1 (0) 25.0%	3 (2) 14.3%
	男性	12 (3) 38.7%	8 (1) 53.3%	2 (1) 40.0%	1 (1) 100.0%	1 (0) 25.0%	0 (0) 0.0%
	女性	6 (3) 24.0%	3 (1) 75.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	3 (2) 20.0%
①胸水 貯留	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%
②胸膜ブ ラーク(胸 膜肥厚 斑)	小計	17 (5) 30.4%	10 (1) 52.6%	2 (1) 25.0%	1 (1) 25.0%	1 (0) 25.0%	3 (2) 14.3%
	男性	12 (3) 38.7%	8 (1) 53.3%	2 (1) 40.0%	1 (1) 100.0%	1 (0) 25.0%	0 (0) 0.0%
	女性	5 (2) 20.0%	2 (0) 50.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	3 (2) 20.0%
③びまん 性胸膜 肥厚	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%
④胸膜 腫瘍(中 皮腫)疑 い	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%
⑤肺野 の間質 影	小計	3 (2) 5.4%	2 (1) 10.5%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (1) 4.8%
	男性	1 (0) 3.2%	1 (0) 6.7%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%
	女性	2 (2) 8.0%	1 (1) 25.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	1 (1) 6.7%
⑥円形 無気肺	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%
⑦肺野 の腫瘍 状陰影 (肺がん 等)	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%
⑧リンパ 節の腫 大	小計	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%
	男性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%
	女性	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	0 (0) 0.0%
②胸膜ブ ラーク且 つ⑤肺 野の間 質影あり	小計	2 (1) 3.6%	1 (0) 5.3%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	1 (1) 4.8%
	男性	1 (0) 3.2%	1 (0) 6.7%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%
	女性	1 (1) 4.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) 0.0%	0 (0) -	1 (1) 6.7%

※ ()内は疑い(内数)口

※ ①～⑧で複数の所見が出た者は全て計上している。①～⑧の合計は実人数とは一致しない口

※ 右欄は各ばく露歴別の胸部CT受診者に対する有所見者の割合(疑いを含む)口

※ 小数点以下第2位を四捨五入

※ 胸膜ブラーク且つ肺野の間質影がある者について、2所見のうち、いずれかが「疑い」であれば、()の所見疑いに計上

表6：平成28年度に胸部CT検査を受けた者のうち、「リスク調査」または「試行調査」において胸部CT検査を受けた者

(単位：人)

	結果	「リスク調査」または「試行調査」において胸部CT検査を受けた直近の年※ ¹		
		H18	H19	H20
前年度等の検査結果から胸部CT検査の受診勧奨をされた者	所見※ ² 有り	0	0	0
	所見無し	0	0	0
その他、本人が希望した人数	所見有り	0	0	0
	所見無し	0	0	0
計		0	0	0

「リスク調査」または「試行調査」において胸部CT検査を受けた直近の年※ ¹						
H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	0	1	1	0	3	8
1	0	2	2	0	4	9
1	0	3	3	0	7	17

※1 平成26年度リスク調査参加者は原則全員胸部CT検査受診としている。

※2 胸水貯留、胸膜プラーク、びまん性胸膜肥厚、胸膜腫瘍、肺野の間質影、円形無気肺、肺野の腫瘤状陰影、リンパ節の腫大(①～⑧)

「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査」 実施体制及び課題と取り組み事例

実施体制

<実施体制>

1 実施担当課

北九州市保健福祉局総合保健福祉センター管理課公害保健係

2 実施人材（委託分は除く）

主担当 （うち非正規 ）

副担当 （うち非正規 ）

受付

一人あたりの平均所要時間

石綿ばく露の聴取

一人あたりの平均所要時間

胸部CT検査

一人あたりの平均所要時間

保健指導

一人あたりの平均所要時間

その他

一人あたりの平均所要時間

（契約・報告書の作成等の事務）

2.1 実施人材（事務）に関する課題

2.1.1 実施に必要な人員の確保

取り組み事例又は対応できなかった理由

・面談及び保健指導の従事者の確保に当って、保健師の確保が困難であることから、今年度も引き続き、看護師（市職員〇Ｂ）に従事依頼を行った。

2.1.2 新たな課題

課題	取り組み事例

実施体制

3 実施時期（募集～保健指導までの日）

平成28年4月

～

平成29年3月

募集～保健指導の実施時期の概要

4月	5月	6月
・面談会場の予約 ・過去受診者の勧奨（参加意向確認アンケート）の郵送 ・面談（保健指導）従事者への依頼 ・医師会、肺がん健診実施機関、指定医療機関関係機関への協力依頼	・過去受診者の参加受付 ※面談日決定、同意書等送付 ・募集チラシ及びポスターの発注及び関係機関への広報依頼 ・保健指導講習会（環境省）参加 ・門司区自治会への募集周知依頼	・市広報誌に募集記事掲載 ・市ホームページに募集記事掲載 ・募集チラシ及びポスターの配布 ・新規者申込受付開始（必要書類送付） ・面談開始（石綿ばく露聴取、保健指導等） ・肺がん検診の受診開始
7月	8月	9月
・新規者申込受付（必要書類送付） ・面談（石綿ばく露聴取、保健指導等） ・肺がん検診受診 ・指定医療機関との委託契約 ・指定医療機関での胸部ＣＴ検査受診開始 ・肺がん検診実施機関からの画像データ取得及び指定医療機関への持込 ・肺がん検診実施機関から受診者への結果通知	・新規者申込受付（必要書類送付） ・面談（石綿ばく露聴取、保健指導等） ・肺がん検診受診 ・指定医療機関での胸部ＣＴ検査受診 ・肺がん検診実施機関からの画像データ取得及び指定医療機関への持込 ・肺がん検診実施機関から受診者への結果通知 ※環境省との受託契約	・面談（石綿ばく露聴取、保健指導等） ・肺がん検診受診 ・指定医療機関での胸部ＣＴ検査受診 ・肺がん検診実施機関からの画像データ取得及び指定医療機関への持込 ・肺がん検診実施機関から受診者への結果通知 ・肺がん検診のみ受診者への文書による保健指導 ・胸部ＣＴ検査受診者結果通知及び文書による保健指導 ※転居者調査募集周知（市広報誌に掲載）
10月	11月	12月
・肺がん検診受診 ・指定医療機関での胸部ＣＴ検査受診 ・肺がん検診実施機関からの画像データ取得及び指定医療機関への持込 ・肺がん検診実施機関から受診者への結果通知 ・肺がん検診のみ受診者への文書による保健指導 ・胸部ＣＴ検査受診者結果通知及び文書による保健指導	・肺がん検診受診 ・指定医療機関での胸部ＣＴ検査受診 ・肺がん検診実施機関からの画像データ取得及び指定医療機関への持込 ・肺がん検診実施機関から受診者への結果通知 ・肺がん検診のみ受診者への文書による保健指導 ・胸部ＣＴ検査受診者結果通知及び文書による保健指導	・指定医療機関での胸部ＣＴ検査受診 ・肺がん検診実施機関からの画像データ取得及び指定医療機関への持込 ・肺がん検診実施機関から受診者への結果通知 ・肺がん検診のみ受診者への文書による保健指導 ・胸部ＣＴ検査受診者結果通知及び文書による保健指導
1月	2月	3月
・指定医療機関での胸部ＣＴ検査受診 ・肺がん検診実施機関からの画像データ取得及び指定医療機関への持込 ・肺がん検診実施機関から受診者への結果通知 ・肺がん検診のみ受診者への文書による保健指導 ・胸部ＣＴ検査受診者結果通知及び文書による保健指導 ※次年度積算額見込み提出（環境省） ※業務報告書作成開始（環境省）	・指定医療機関での胸部ＣＴ検査受診 ・肺がん検診実施機関からの画像データ取得及び指定医療機関への持込 ・肺がん検診実施機関から受診者への結果通知 ・肺がん検診のみ受診者への文書による保健指導 ・胸部ＣＴ検査受診者結果通知及び文書による保健指導 ※業務報告書作成	※業務報告書作成及び提出（環境省） ※精算報告書等作成及び提出（環境省） ※次年度計画の準備

4 試行調査に関する委託業務

委託先	委託内容
・独立行政法人労働者健康安全機構九州労災病院 ・独立行政法人労働者健康安全機構九州労災病院 門司メディカルセンター ・一般財団法人西日本産業衛生会 ・北九州市立門司病院 ・産業医科大学病院	・肺がん検診の胸部Ｘ線画像（データ）の読影 ・胸部ＣＴ検査撮影及び読影、評価、結果報告

実施体制

5 事業スキーム

5.1 実施日数

(受付、石綿ばく露の聴取、胸部CT検査、肺がん検診※、保健指導まで、受診者に足を運んでもらう回数)

☐ 1日 ☐ 2日 ☐ 3日 ☐ 4日 ☐ 5日

3日

※ その他の検診等から胸部X線画像を取り寄せる場合を除く

5.2 実施項目

■ 受付

☐ 何日目の実施か

☐ 実施場所

名称：

① 北九州市立総合保健福祉センター（担当部署配置）

②

③

④

⑤

場所の選定理由： ・ 本調査の担当部署が配置されている場所であるため。

※ 場所によって理由が異なる場合は、個別に記載

■ 石綿ばく露の聴取

☐ 何日目の実施か

1日目

☐ 実施場所

名称：

① 北九州市立門司生涯学習センター

② 北九州市立総合保健福祉センター（担当部署配置）

③

④

⑤

場所の選定理由： ①⇒当該場所は調査対象地域である門司区（行政区）の区域中央に位置しており、受診者の大半が当該区域内の居住者であるため受診者の利便性を考慮し選定。
②⇒当該場所は本市区域の中央に位置し本調査担当部署が配置されており、門司区外に居住する遠方の受診者が①の面談場所に来られない場合、面談を実施するために選定。

※ 場所によって理由が異なる場合は、個別に記載

実施体制

■ 胸部ＣＴ検査

□ 何日目の実施か

3日目

□ 実施場所

名称：

- | | |
|---|---------------------------------------|
| ① | 独立行政法人労働者健康安全機構 九州労災病院 |
| ② | 独立行政法人労働者健康安全機構 九州労災病院
門司メディカルセンター |
| ③ | 一般財団法人 西日本産業衛生会 |
| ④ | 北九州市立門司病院 |
| ⑤ | 産業医科大学病院 |

場所の選定理由：

・「対象者の胸部X線検査の読影及び胸部ＣＴ検査が可能なこと」、「アスベスト専門外来やアスベスト検診を実施していること」、「前調査で北九州市石綿健康リスク調査専門委員会の委員を選出していたこと」により選定。

※ 場所によって理由が異なる場合は、個別に記載

■ 保健指導

□ 何日目の実施か（1日目～5日目）

1日目

□ 実施場所

名称：

- | | |
|---|-------------------------------|
| ① | 北九州市立門司生涯学習センター（石綿ばく露歴聴取時に実施） |
| ② | ※胸部ＣＴ検査を実施する指定医療機関（医師による保健指導） |
| ③ | ※北九州市総合保健福祉センター管理課（文書による保健指導） |
| ④ | |
| ⑤ | |

場所の選定理由：

①⇒本市では、前回受診時の所見結果をもとに面談時（石綿ばく露歴聴取）に保健指導も同時に行っていることから、面談会場と同一の場所を選定。
※なお、②及び③においても次のとおり保健指導を行っている。
②⇒胸部ＣＴ検査受診時には、医師が検査結果等を受診者に説明している。
③⇒受診者の所見結果の通知（文書送付）の際には、石綿関連のリーフレット等の文書による保健指導も行っている。

※ 場所によって理由が異なる場合は、個別に記載

■ 胸部X線検査（肺がん検診等からの取り寄せ）

□ 肺がん検診から胸部X線画像を取り寄せる場合

□ いずれの項目と同時に実施しているか。またその理由

（受付、石綿ばく露の聴取、胸部CT検査、保健指導）

項目：

理由：

その他：

実施体制

□（同時に実施していない場合）どのタイミングで実施しているか。また、その理由

項目：

胸部CT検査までに

理由：

・本市の肺がん検診は、既に決まった日程の集団検診であるため、胸部ＣＴ検査受診予約日までに、肺がん検診実施機関から胸部Ｘ線画像データを取り寄せて、胸部ＣＴ検査を実施する指定医療機関へ届けている。

・肺がん検診実施機関の作業期間（①読影、②受診者から試行調査受診者の画像データ等の検索及び特定、③特定した画像のＣＤへの保存）として１ヶ月程度要する。また、受診者が胸部ＣＴ検査を受診する前に、当該画像データを指定医療機関に持ち込み同時に読影する必要がある。

その他：

□ 試行調査に合わせて既存の肺がん検診のスキームのアレンジを行ったか。
行った場合は、行った内容とその理由を記載。

行っていない

内容：

理由：

その他：

・本市の既存の肺がん検診は受診者の利便性を考慮し、検診車（バス）を活用して地域に出かけて行う集団検診方式（時間及び場所指定）で実施している。また、喀痰検査を除き無料で実施しているが、一箇所１時間半から２時間と制約のある中で多くの方の問診、検診ができるよう肺がん検診実施機関は効率的な実施に努めている。
・よって、既存の肺がん検診自体の実施方法等を変更する必要性はなく、試行調査が肺がん検診に合わせ効果的に実施されるよう、検討することが今回の目的であると認識している。また、肺がん検診の変更に伴う経費を肺がん検診（自治体）に負担を強いることは不適切である。

□ その他の検診等から胸部X線画像を取り寄せる場合

□ どのタイミングで実施しているか。また、その理由

理由：

その他：

・試行調査の目的に沿って全ての受診者に肺がん検診を受診してもらっている。

実施体制

5.3 事業スキームに関する課題及び取り組み事例

5.3.1 受診者の来所回数削減のための対応

取り組み事例又は対応できなかった理由
・本市の既存の肺がん検診は受診者の利便性を考慮し、検診車（バス）を活用して地域に出かけて行う集団検診方式（時間及び場所指定）で実施している。また、喀痰検査を除き無料で実施しているが、一箇所1時間半から2時間と制約のある中で多くの方の問診、検診ができるよう肺がん検診実施機関は効率的な実施に努めている。 ・よって、既存の肺がん検診自体の実施方法等を変更する必要性はなく、試行調査の方が肺がん検診に合わせ効果的に実施していくことが今回の試行調査の目的であると認識している。また、肺がん検診の変更に伴う経費を肺がん検診（自治体）に負担を強いることは不適切であることから、次のとおり、本試行調査を実施する中で、できる限り受診者の負担軽減に努めている。 ①「面談（石綿ばく露歴聴取）」、「肺がん検診」、「胸部ＣＴ検査」、「保健指導」を全て実施するためには、受診者に4日足を運んでもらうことになる。このため、「面談時（石綿ばく露歴聴取）」に、前回受診時の所見結果をもとに保健指導も同時に行っている（受診者負担を1日軽減）。 ②肺がん検診当日の待ち時間をなくすよう、試行調査の面談時（石綿ばく露歴調査）に肺がん検診の問診票を事前に記入してもらい、当日の肺がん検診に持参してもらっている。

5.3.2 新たな課題

課題	取り組み事例

対象者・対象地域

<周知>

1 実施時期

平成28年4月

～

平成28年8月末

2 実施者（複数回答可）

☐ 正職員 ☐ 非正規職員 ☐ 委託

非正規職員

正職員

☐ その他

3 周知方法（複数回答可）

☐ 広報誌 ☐ ホームページ ☐ チラシ ☐ 新聞折り込み

※新規の受診者の募集

広報誌

ホームページ

チラシ

（個別） 対象者： 過去の調査受診者

（その他）

4 周知に関する課題及び取り組み事例

課題	取り組み事例

対象者・対象地域

<申し込み>

1 実施時期

平成28年6月

～

平成28年8月末

※新規の受診者の募集期間

2 実施者（複数回答可）

☐ 正職員 ☐ 非正規職員 ☐ 委託

非正規職員

3 実施方法（複数回答可）

☐ 電話 ☐ FAX ☐ 郵便 ☐ インターネット ☐ 窓口

電話

☐ その他

※過去受診者には、個別に文書による参加勧奨（参加意向確認：回答期限 5 月中旬）

4 申し込み方法に関する課題及び取り組み事例

課題	取り組み事例

石綿ばく露の聴取

1 実施時期（複数回答可）

☐ 決められた日 ☐ 受診者任意の日

決められた日

※6月～8月末まで間（週3日）の中で受診者が希望する日

2 実施者

☐ 事務（☐ 正規 ☐ 非正規 ☐ 委託） ☐ 保健師（☐ 正規 ☐ 非正規 ☐ 委託）

☐ 看護師（☐ 正規 ☐ 非正規 ☐ 委託） ☐ 医師（☐ 正規 ☐ 非正規 ☐ 委託）

☐ その他（ ）（☐ 正規 ☐ 非正規 ☐ 委託）

看護師

（その他）

非正規		

※上記の看護師は市職員OBで業務従事依頼者

3 石綿ばく露の聴取に関する課題及び取り組み事例

3.1 石綿ばく露の記憶が曖昧なため、聴取が難しい場合の対応

取り組み事例又は対応できなかった理由
・調査申込者には、面談の前にあらかじめ、「ばく露歴等の質問票」を郵送で送付し、自宅で保有する資料等を参考にして、わかる範囲で記載してもらっている。これを面談当日に持参してもらい、面談時の会話の中で確認を行っている。

3.2 新たな課題

課題	取り組み事例

石綿ばく露の評価（検査）

<胸部CT検査>

1 実施方法

1.1 実施日（複数回答可）

☐ 集団（決められた日） ☐ 個別（任意で受診できる日）

※指定医療機関の指定する日のうち受診者の希望する日（場所の選択）

（場所の選択）

個別
可

1.2 画像の形式（複数回答可）

☐ フィルム ☐ デジタル ☐ 確認困難 ☐ その他（ ）

（その他）

デジタル

2 胸部CT検査に関する課題及び取り組み事例

2.1 医療機関の確保

取り組み事例又は対応できなかった理由

2.2 新たな課題

課題	取り組み事例

石綿ばく露の評価（検査）

＜胸部X線画像の取り寄せ＞

1 肺がん検診からの取り寄せ

1.1 肺がん検診機関からの取り寄せ方法

■ 依頼方法

- ☐ 自治体が肺がん検診機関に依頼 ☐ 受診者本人が肺がん検診機関に依頼
☐ 胸部CT検査機関と肺がん検診実施機関が同一のため、取り寄せ依頼が発生しない
☐ その他

（その他）

・自治体が肺がん検診実施機関に受診者の画像データのCD保存を依頼し、指定当日にCD等を受け取りに行く。

■ 読影先への胸部X線画像の送付方法（取り寄せ依頼が発生する場合）

- ☐ 肺がん検診機関から読影先に送付 ☐ 本人が読影先に送付または持参
☐ その他

（その他）

自治体に取り寄せ、読影先へ送付する。

■ 胸部CT検査機関と肺がん検診実施機関を同一の機関で行う事が可能か。

（取り寄せが発生する場合）

- ☐ 可 ☐ 不可

不可

その理由：

・本市の肺がん検診は、地域の身近な場所（市民センター等）で実施されており、胸部CT検査を実施することはできない（肺がん検診は指定医療機関で実施していない。）

（可能な場合は、可能であるが行わない理由。不可能な場合は不可能な理由）

■ 肺がん検診の実施部署

- ☐ 試行調査実施部署と同じ ☐ 試行調査実施部署と別

試行調査実施部署と別

1.2 肺がん検診の実施日

- ☐ 集団（決められた日） ☐ 個別（任意で受診できる日）

集団

（場所の選択）

可

1.3 肺がん検診の撮影条件（複数回答可）

※直接、間接が混在していることは確認できるが、全てを把握する事が実務上困難な場合は、直接撮影・間接撮影・確認困難それぞれ選択。

- ☐ 直接撮影 ☐ 間接撮影 ☐ 確認困難 ☐ その他（ ）

直接撮影

（その他）

石綿ばく露の評価（検査）

1.4 肺がん検診の画像の形式（複数回答可）

☐ フィルム ☐ デジタル ☐ 確認困難 ☐ その他（ ）

※フィルム、デジタルが混在していることは確認できるが、全てを把握する事が実務上困難な場合は、フィルム・デジタル・確認困難それぞれ選択。

デジタル

（その他）

2 その他の検診からの取り寄せ

2.1 その他の検診からの取り寄せ方法

■ 依頼方法

- ☐ 自治体が医療機関等に依頼 ☐ 受診者本人が医療機関に依頼
☐ その他

（その他）

試行調査の目的に沿って全ての受診者に肺がん検診を受診してもらっている。

■ 読影先への胸部X線画像の送付方法（取り寄せ依頼が発生する場合）

- ☐ 医療機関等から読影先に送付 ☐ 本人が読影先に送付または持参 ☐ その他

（その他）

3 胸部X線画像取り寄せに関する課題及び取り組み事例

3.1

肺がん検診等との連携によって、個々の医療機関との契約等を行う手続きが発生したことによる事務量増加への対応

取り組み事例又は対応できなかった理由

3.2 確実な胸部X線画像取り寄せに関する対応

取り組み事例又は対応できなかった理由

・試行調査の受診者専用の「肺がん検診受診問診票」を活用することにより、肺がん検診実施機関が試行調査受診者を簡単に特定できることにより、一般者を含む多数の肺がん検診受診者の中から、試行調査受診者の画像データを入手する時間を短縮することができた。

石綿ばく露の評価（検査）

3.3 新たな課題

課題	取り組み事例

<読影>

1 実施方法（複数回答可）

☐ 胸部CT検査実施医療機関 ☐ その他の医療機関 ☐ 読影委員会の設置 ☐ その他

胸部CT検査実施医療機関

2 読影の実施に関する課題及び取り組み事例

2.1 石綿関連所見/疾患に詳しい医師の不足への対応

取り組み事例又は対応できなかった理由

2.2 新たな課題

課題	取り組み事例

保健指導

<保健指導>

1 実施時期（複数回答可）

☐ 決められた日 ☐ 任意で受診できる日

※6月～8月末まで間（週3日）の中で受診者が希望する日（場所の選択）

（場所の選択）

決められた日

2 実施者（複数回答可）

☐ 保健師（☐ 正規 ☐ 非正規 ☐ 委託） ☐ 医師（☐ 正規 ☐ 非正規 ☐ 委託）

☐ その他（ ）（☐ 正規 ☐ 非正規 ☐ 委託）※ その他は職種を記載

（その他）

看護師

非正規		

※上記の看護師は市職員OBで業務従事依頼者

3 実施方法

☐ 個別 ☐ 個別と集団 ☐ その他

個別

（その他）

（具体的な対象者）

個別

集団

その他

受診者全員

※「面談（石綿ばく露歴聴取）」時に前回受診時の所見結果をもとに保健指導も同時に実施。

4 保健指導の実施に関する課題及び取り組み事例

4.1 保健指導充実のための取り組み事例

取り組み事例又は対応できなかった理由

・ 受診カードとして、各種の健康情報が掲載されている市の健康手帳を活用し、石綿と喫煙の両方のばく露を受けると肺がんの危険性が高くなることを周知するなどの保健指導を行っている。また、受診結果（所見等）を受診者に文書送付する際には、保有する受診カードに受診日、所見結果等を記載するよう勧奨し、さらに面談時（石綿ばく露歴聴取時）にも、再度、受診カードへの記載を促している。

・ 保健指導講習会（環境省主催）に保健指導従事者を参加させ、知識の向上を図っている。

4.2 新たな課題

課題	取り組み事例

その他

＜フォローアップ＞

1 受診カード配布者に対する肺がん検診でのフォローアップ

1.1 実施方法（受診カード配布者の肺がん検診受診の把握）（複数回答可）

☐ 電話 ☐ FAX ☐ 郵便 ☐ E-mail ☐ その他（ ）

郵便

（その他）

--

1.2 受診カード配布者に対する肺がん検診でのフォローアップに対する課題

課題	取り組み事例
・当該年度の試行調査に参加していない場合は、本人の同意が取れていないことから、肺がん検診実施機関に照会することができず、本人に問合せするしか確認できない。	・過去受診者には、年度当初に当該年度の試行調査の参加意向の確認文書を送付しているが、その中で肺がん検診等を受診したかどうかの確認を行っている（ただし、文書により回答があった受診者の状況のみしか確認できない）。 ・なお、この試行調査に参加しなくても、職場の検診などを受診し自身の健康管理に努めるよう勧奨している。

2 要精密検査の方の受診勧奨や結果の把握（複数回答可）

☐ 電話 ☐ FAX ☐ 郵便 ☐ E-mail ☐ その他（ ）

電話
郵便

（その他）

--

2.1 要精密検査の方の受診勧奨や結果の把握についての課題

課題	取り組み事例

その他

＜受診者への支払い方法＞

1 肺がん検診の自己負担分の支払い

1.1 支払い方法

☐ 償還払い ☐ チケット ☐ その他（ ）

（その他）

※本市では受診者の自己負担なし

1.2 肺がん検診の自己負担分の支払い方法に関する課題

課題	取り組み事例

2 精密検査の自己負担分の支払い方法

2.1 支払い方法

☐ 償還払い ☐ チケット ☐ その他（ ）

（その他）

※本市では受診者の自己負担なし（指定医療機関に検査委託）

2.2 精密検査の自己負担分の支払い方法に関する課題

課題	取り組み事例

その他

<その他>

1 その他試行調査の実施に伴う課題及び取り組み事例

課題	取り組み事例

その他

<独自で行ったアンケート結果>

1 自治体独自で行ったアンケート等がありますか。

有

2 アンケートの概要

2.1 目的

過去の調査受診者に対して、平成28年度調査への参加の意向確認

2.2 対象者

平成21年度～平成27年度の調査受診者

2.3 結果の概要

平成28年度試行調査に参加しない理由

※勧奨し、返信があった者のうち、H28年度調査に未参加の意向が確認できた者
104名の未参加の理由

未参加と回答があった者	合計		男性		女性	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
人数	158	100.0	71	44.9	87	55.1
未 参 加 の 理 由						
回答は複数回答可で実施 (%は回答総件数に対する割合)	合計		男性		女性	
	(件数)	(%)	(件数)	(%)	(件数)	(%)
A 特に異常がないから	97	61.4	44	27.8	53	33.5
a 前回の検診で異常がなし	60	38.0	27	17.1	33	20.9
b 自覚症状(異常)がない	37	23.4	17	10.8	20	12.7
B 他の検診(試行調査外)を受診	37	23.4	17	10.8	20	12.7
a 肺がん検診等住民健診を受診	16	10.1	8	5.1	8	5.1
b 職場健診、人間ドックを受診	10	6.3	5	3.2	5	3.2
c 他疾患で治療中(検査受診)	11	7.0	4	2.5	7	4.4
C 市外に転居(転居者調査参加)	1	0.6	1	0.6	0	0.0
D その他の理由	23	14.6	9	5.7	14	8.9
a 忙しく時間がない	6	3.8	2	1.3	4	2.5
b 調査への参加意思がない	8	5.1	4	2.5	4	2.5
c その他	9	5.7	3	1.9	6	3.8
回答件数 合計	158	100.0	71	44.9	87	55.1

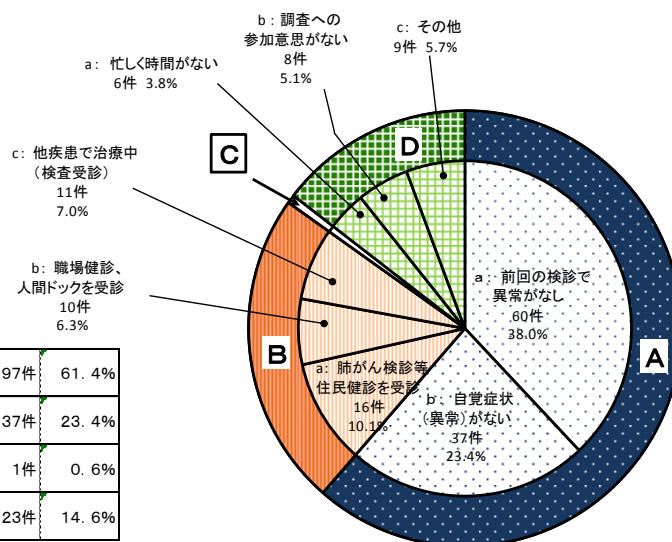
※その他理由

・放射線の被曝が怖い。前回の受診日から受診間隔が近い。平日には健康相談に行けない。面談実施場所が遠い。
死亡(家族から報告あり)。

不参加理由

【大分類凡例】

A: 特に異常がないから	97件	61.4%
B: 他の検診(試行調査外)を受診	37件	23.4%
C: 市外に転居(転居者調査参加)	1件	0.6%
D: その他の理由	23件	14.6%



平成 28 年度石綿ばく露者の健康管理に伴う試行調査（北九州市）報告書

平成 29 年 3 月 31 日

発注者 環境省総合環境政策局
 環境保健部環境保健企画管理課石綿健康被害対策室
 TEL : 03-3581-3351(内線 6387) FAX : 03-5510-0122
 E-mail ISHIWATA@env.go.jp

受託者 住所 福岡県北九州市小倉北区馬借 1 丁目 7 番 1 号
 名称 北九州市（保健福祉局総合保健福祉センター管理課）